

「桜洲小学校の小池島廻り踊り伝承活動の取組」

1 学校名 鹿児島市立桜洲小学校

2 学年・人数 第1学年から第6学年 88人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所 5月上旬から下旬, 10月上旬

(2) 発表の場所

桜洲小学校運動会(校庭), 桜島地域大運動会(桜島多目的広場)
市あいご連絡協議会委嘱公開

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能, 伝統行事について

(1) 名称 こいけしままわ おど
小池島廻り踊り

(2) 由来

今から約100年以上前, 島津光久公の時代, 桜島では, 地域ごとに小さな船を使って桜島の周りを一周する「島廻り競争」が行われていた。

大正3年の爆発後, 島周り競争は, 区間ごとに行われ, その競争を応援するために, 小池浜で踊っていたのが「小池島廻り踊り」である。1961(昭和36)年には, 市無形民俗文化財に指定された。

(3) 構成等

踊り連は, 円形になり, 保存会のお囃子に合わせ小舟の艫を漕ぐ様子や雄大な桜島や錦江湾を形取った様子を表現して踊る。現在は, 発表会場の広さや参加人数に応じて, 隊形を変えながら踊っている。

5 保存会や地域との連携の具体

毎年5月の小学校運動会において, この「小池島廻り踊り」を伝承・披露するため, 小池島廻り踊り保存会の方々に, 児童への細かい指導をお願いしている。また, 10月にある桜島地域大運動会でも, 5, 6年生と一緒に踊っている。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

保存会の方々が伝承している踊りを, 子どもたちが踊りやすいように, 保存会の方が一部簡素化しつつ, 歌に合うように工夫している。

7 取組の様子(練習状況, 発表の場等)

その年取り組む新5年生も, 保存会長の指導を受け, 5・6年生への伝承が続いていることを知っており, 心構えができています。低学年の頃から目に見えるので, 踊りの覚えは早く, 個別に細かい点の修正を加えるだけで, ほぼ踊ることができるようになる。

8 写真



【小池島廻り踊り保存会】



【小学生への指導】
(運動会に向けて)



【桜洲小学校運動会】
(地域住民の前で)



【桜島地域運動会】

9 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(参加児童)

- ・見てくれる人から拍手をいただき、うれしかった。
- ・たくさんの人の前で踊るのははずかしかったけど、最後まで踊ることができてうれしかった。
- ・地域の運動会の時、保存会の人たちの踊りを見てやっぱり本物はちがうなあと思いました。踊りの手さばきもすばらしかったです。

(教職員)

- ・郷土の文化を受け継ぎ、運動会等で地域の人たちの前で披露する活動は、とても有意義であると思います。地域で育つ子どもたちの心に深く焼き付き、生涯にわたってこの踊りを記憶し、伝承してくれることを期待しています。

(保存会)

- ・郷土に伝わる小池島廻り踊りを小学生と保存会と一緒に練習し、地域住民の前で踊ることができ、ありがたく感じています。卒業しても、この伝承を続け、地域に誇りをもって生きる子どもたちに成長してくれることを願っています。